

理事会・評議員会を開催しました

平成30年5月に開催した理事会・評議員会で承認・決定された主な内容を簡単にご紹介します。

I. 平成29年度事業報告及び収支決算(下記の内容が承認されました。)

※下記の内容(一部を除く)は、当調査会ホームページ(<http://www.tama-100.or.jp/>)にて閲覧・ダウンロードすることができます。

【事業報告】

1. 調査研究事業

①市町村の広域的・共通課題についての調査研究(5テーマについて調査研究報告書を発行)

スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究(ケーススタディ:立川市・国分寺市)

多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究

多摩地域における都市農業の保全と振興に関する調査研究

多摩・島しょ地域における新地方公会計の利活用に関する調査研究

多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究

②市町村職員の身近な疑問等に関する調査(情報提供誌「ニュース・レター」に掲載)

③毎年度実施の調査(4件の調査報告書を発行)

多摩地域データブック2017(平成29)年版

多摩地域ごみ実態調査(平成28年度統計)

市町村財政力分析指標(平成19年度から平成28年度)

市町村税政参考資料(平成19年度から平成28年度)

2. 共同事業

- ①多摩・島しょ広域連携活動助成事業
- ②多摩・島しょスポーツ習慣定着促進事業助成事業
- ③多摩・島しょわがまち活性化事業助成事業
- ④みどり東京・温暖化防止プロジェクト
- ⑤協賛事業「愛らんどリーグ(サッカー大会)」

3. 普及啓発事業

- ①出張フォーラム実施(調査研究結果の市町村への還元)
- ②シンポジウム『多摩・島しょ地域』×『スポーツ』でまちを元気に
～スポーツが持つ力とスポーツコミッションの可能性～開催
- ③情報提供誌「自治調査会 ニュース・レター」発行
- ④機関紙「ぐるり39～自治調査会だより～」発行 等



4. 広域的市民活動への支援(多摩交流センター事業)

- ①交流の場の提供
- ②広域的な市民ネットワーク活動等への助成
- ③生涯学習講座開催(TAMA市民塾との共催)
- ④多摩地域に関する情報の発信 等

【収支決算】(貸借対照表)

資産の部		負債・正味財産の部	
流動資産	149,695千円	負債の部	48,156千円
固定資産	4,578,028千円	指定正味財産	3,790,000千円
		一般正味財産	889,566千円
合計	4,727,723千円	合計	4,727,723千円

※各数値を四捨五入しているため、表内の数値の合算と合計が一致しないことがあります。



オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん

シーナ

1 稲城市

稲城市外来生物駆除ボランティア2018

稲城市では、市内外でボランティア活動を行う駒沢女子大学アクティ部(稲城市)と連携して、多様な観点から外来種駆除を進めています。これまでも「アメリカザリガニ」をただ駆除するだけでなく、食することで命の尊さについても考えてきました。

今年は、市が緊急的に実施する特定外来生物「オオキンケイギク」の駆除にもご協力いただき、1時間の作業で230kgを抜き取りました。駆除したオオキンケイギクは、エコバッグの草木染めの染料として活用し、様々な模様を付けて染め上げ、世界で一つだけのマイバッグづくりを楽しみました。

【問合せ先】稲城市 環境課 TEL 042-378-2111



2 羽村市

リユース食器貸出事業

羽村市では、市内の団体、事業者、個人の方が行うイベントにリユース食器の貸出しを行っています。平成29年度は、貸出食器総数52,346個、3,692kgの二酸化炭素排出量を削減しました。リユース食器を使用し、廃棄物となってしまう使い捨て容器を削減することで、低炭素な事業や生活を推進しています。

使い終わった食器は洗浄する必要もなく、返却するだけ。実際にご利用いただいた皆さんからは、「ゴミも出ないし、便利でエコ!」という声をいただいています。また、リユース食器の原料の低炭素化にもこだわった、バイオマスプラスチック製の食器も取り揃えています。

【問合せ先】羽村市 環境保全課 TEL 042-555-1111(内線227)



3 青ヶ島村

LED照明導入促進事業

青ヶ島村では、CO₂排出量の削減を進めるため、公共施設の照明器具をLED照明へ順次更新しています。平成29年度は、保健・医療・福祉施設が一体となった総合施設「おじゃれセンター」の在宅サービスセンター部分の廊下と部屋をLED照明へ更新しました。

「おじゃれセンター」は、普段は、在宅サービスセンターのほかに、診療所・保育所もあり、電気の使用量も多く、LED照明へ更新したことにより、他の施設よりCO₂削減の効果が期待できます。また、非常時には避難施設となっており、LED照明は電力量を抑えることができるので、非常用発電機の稼働時間延長も見込めます。

【問合せ先】青ヶ島村 総務課 TEL 04996-9-0111

